

文化的で民族的な発展

アシェル・イントレーターとコーディアチャー

2013年11月10日

最初の、イエシュア（イエス）にある信仰のコミュニティはシャブオット（ペンテコステ）の日に開始しました。120人のユダヤ人信者の初代のコア的集まりがあり(使徒 1:14)、ガリラヤから来た生粋の「イスラエル人」が殆どでした(使徒1:11、2:7)。

福音書を注意して読んで行くと、ガリラヤから来たイエシュアの弟子たちと、ユダヤ・エルサレム地域の、より宗教的なユダヤ人グループとの、社会的というか、むしろ民族的といえる対立（緊張）が伺えます(マタイ 26:73、マルコ 14:70、ルカ 22:59、23:6、ヨハネ 7:1、7:52)。その「ガリラヤ」と「ユダヤ」間の緊張と、今日のメシアニックジューと正統派ユダヤ教徒との緊張との間に、かなりの共通する部分が見受けられます。

聖霊が注がれた直後に、このコア的グループは、はるかに大きな3千人のグループと対峙しました(使徒 2:41)。これらの人々はイスラエルの外から、聖なる日を過ごすためエルサレムに上って来ました。「さて、エルサレムには、敬虔なユダヤ人たちが、天下のあらゆる国から来て住んでいたが、」(使徒 2:5)。これが私たちが今日「離散」ユダヤ人と呼ぶものです。

しかしそこには他の民族的背景をもつ人たちもいました。「ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレテ人とアラビヤ人…」使徒 2:11。(クレテはヨーロッパに位置するイスラエルに近い島。)なのでそのグループ全体にはこれらの民族がいました。

1. 「イスラエル（ガリラヤ）生まれ」のユダヤ人
2. 離散ユダヤ人
3. ユダヤ教への改宗者
4. ヨーロッパ人（クレテ人）
5. アラビヤ人

多民族的な異邦人「教会」は、後に福音が小アジアやヨーロッパに広まって行った時に形成されていきます。しかし異なった枝と一緒に接ぎ木されて行くというパターンは(ローマ 11:17)、初期の頃からすでに明らかで、教会（エクレシア）の土台に組み込まれていったのです。このように異なった言葉、文化、民族的背景の混在により、このコミュニティ内にストレスが生まれました(使徒 6:1)。

これら来訪者たちが故郷へ帰って行くに従い、福音が彼らの国へ広がって行きました。それぞれの国のグループは、異なったアイデンティティ、名称さえも、別々に検討していました。「弟子たちは、アンテオケで初めて、キリスト者と呼ばれるようになった。」使徒 11:26。イスラエル内のユダヤ人弟子たちは、自分たちが周りのユダヤ人コミュニティの欠くことのできない一部だと認識していたので、別ブランドを作ること、ましてや新しい宗教を始めることなどは考えてもいませんでした。

異邦人の中での教会が成長するに従って、2つのアイデンティティが形成されていきました。異邦人の内にあっては、「異邦人の教会」と呼ばれ（ローマ16:4）、一方ユダヤ人信者たちは「イスラエルのレムナント（残された者たち）」と呼ばれました。「わたしのために残し... 恵みの選びによって残された者」--ローマ11:4-5。使徒たちの国際的協議会（使徒15章）は、これら2つのグループが、別々の信者集団の下位文化を発展させて行くことができると判断したのです。

福音がヨーロッパに伝播していっただけでなく、エルサレムの「正統派」ユダヤ人の間にも浸透していったのです。何万人もの宗教的ユダヤ人がヤコブの周りで信仰を持ちました。彼らは、モーセ5書やラビ的習慣といった自分の生活スタイルを変えることはしませんでした。それはある意味、初代ガリラヤの弟子たちとは違った方法でした。「ユダヤ人の中で信仰に入っている者は幾万となくありますが、みな律法に熱心な人たちです...慣習に従って歩む」--使徒 21:20-21

この多民族的な多様性は、土台であるところのエルサレム、ユダヤ、サマリヤから地の果てまで福音を述べ伝えるという大宣教命令の、一つの自然派生的なものなのです（使徒 1:8）。今日、福音が地の果てからイスラエルに戻って来ているのにつき、紀元1世紀当時のものと、平行的とも言える、目を見張るべき回復状態が存在します。それはイスラエルと離散の地におけるメシアニックジュー、そして様々な人種、言語、国籍のクリスチャンからなるのです(黙示録 7:4、9)。

イスラエルのプロライフ

私たちは、ここイスラエルにおいて、貧しい人々へと、他のミニストリーへの2本立てで経済的援助していくことで、メシアの御身体を強めていくことに尽力しています。今週私たちは、イスラエルのNPOで、シングルマザーやお腹の赤ちゃんたちを守り、助けるといった素晴らしい働きをしているベアド・ハイム(Pro Life) にスポットを当ててみましょう。ベアド・ハイム代表サンディー・ショシャナのインタビュー動画は[こちら](#)。

